



香取市合併10周年

# かとり 農業委員会だより

平成29年1月

No.31

編集・発行  
香取市農業委員会

〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127 TEL 0478-50-1226 (0478-54-1111 内線2871)

## 新年のあいさつ・就任のあいさつ



香取市農業委員会  
会長 伊藤 寛

輝かしい新年を迎え、農家の皆様のご健勝とご多幸をお慶び申し上げます。

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、昨年四月一日より新しい農業委員会体制でスタートいたしました。

新しい法律では農業委員会が主たる使命である「農地利用の最適化」の具体化に向けて、香取市農業委員会も農業委員・十九名と農地利用最適化推進委員・二十四名の新体制で活動を開始いたしました。

その矢先、大須賀前会長の急逝という突然の訃報に接し、一時はリーダー不在の事態となりましたが、十一月二十二日の臨時総会において、会長に選任され、会長職務代理者として会長をサポートする立場から、会長となり非常な重責を感じております。

前会長の意思を引き継ぎ、「農地利用の最適化」のため、農業委員と農地利用最適化推進委員の有機的な連携を図りながら、農業委員会として果たすべき役割を全うしたいと思います。

さて、農業を巡る情勢としては、農業委員会等に関する法律の改正だけではなく、農協改革や米の生産数量目標の撤廃、TPPの大筋合意など国際化への対応、地方の衰退、食料生産の過剰と不足の存在など、より深化した困難な時代を迎えようとしています。

特にTPPに関しては、アメリカの新大統領の動向にも注視する必要がありますが、まさに激動の時を迎えようとしております。

農業委員会として、農業を取り巻く環境が変わっている現状を認識し、地域農業の維持・発展に向けて委員会一同取り組んで参りますのでより一層のご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

## 香取市市民表彰の報告

昨年十一月七日、伊藤寛農業委員が長年（十二年以上）の農業委員活動を通じて、市政発展と農業行政の振興への貢献が認められ、表彰されました。



## 香取市農業振興支援金のお礼と報告

「香取のふるさとまつり」の農業委員会ブースで、「香取市農業振興支援金」へのご協力をお願いいたしました。

多くの皆様からの温かいご支援をいただき、深く感謝を申し上げます。

山田ふれあいまつり

34,627円

栗源のふるさととも祭

11,358円

ふるさとフェスタさわら

11,474円

昨年十二月六日、皆様のご支援を農業委員会の役員より、市長にお渡しいたしました。誠にありがとうございます。



## 「県外先進地視察研修」を実施しました。

香取市農業委員会の視察研修は、山梨県北杜市方面に昨年十月四日～五日の日程で、農業委員・農地利用最適化推進委員の計二十九名が参加して実施されました。

### 山梨県北杜市「耕作放棄地の有効利用について」

農業委員 松枝和夫 十月四日(火)

産業観光部農政課の小澤課長の説明により、耕作放棄地の有効活用について研修する。

北杜市は古くから養蚕の産地であったが、外国からの輸入等により養蚕が衰退し、桑園の耕作放棄地が増えていった。

この対策として、行政と市農業振興公社等と一緒にあって、補助事業等を活用して、土地整備や施設整備を進め、企業参加をはかった。

その結果、現在では農業型企業十七社が施設利用型農業、露地野菜、養鶏等に参入して、農業を開始している。

説明の後、質疑応答に移り、活発に質問が出て会議室での研修が終わった後、施設団地を外から見学する。

整備されたハウスが林立する光景は圧巻で、耕作放棄地の有効活用について、有意義な視察研修になりました。



研修の様子



ハウス団地

### 山梨県北杜市 有限会社 イズミ農園

「健康でおいしい野菜作りと安定供給で全国展開」

農業委員 飯森孝 十月五日(水)

有限会社 イズミ農園を視察し、地元の公民館で、梅津 代表取締役の話の話を聞きました。

「梅津農法」という独自の栽培技術と経営哲学で、経営の規模拡大をはかっている。

梅津 代表は、脱サラして農業に取り組み、独自に研究して「梅津農法」を確立し、大産地で作っていないが、ニーズのある作物を導入することで、契約栽培による経営の安定化をはかるなど、農業に「商い精神」を取り入れ、全国各地で露地野菜を栽培し、商社や量販店向けに供給している。

これからの農業では、耕作地(土地問題)と人材育成(後継者等)が重要である事を訴えられた。

また、梅津 代表は香取市の農業情勢にも通じており、香取市には大きな可能性があると話されました。

話を聞いた後、栽培ほ場を案内された。密植栽培が行われていたが、「梅津農法」により生育は旺盛であった。

農業委員として、法人化や土地問題について、何が出来るか考えさせられる研修でした。



ほ場を視察

農業委員会は、昨年秋の「香取のふるさとまつり」に参加しました

山田ふれあいまつり

十一月三日の文化の日に山田支所市民広場で開催された、「山田ふれあいまつり」は、多くの野菜をはじめとする特産品や地元農産物で作る加工品、岩手県山田町からの新鮮な海産物の販売もありました。

農業委員会のブースでは、恒例の「ジャンボカボチャ重量当てクイズ」を行い、七百名以上の方の参加をいただきました。

ジャンボカボチャは、山田地区の農業委員と農地利用最適化推進委員、元農業委員にもご協力をいただき、今年も六十kgから七十kg級のカボチャを育て上げていただきました。



恒例となった重量当てクイズも毎年、好評です。来年も大勢の皆様のご参加を期待いたします。

栗源のふるさとイも祭

十一月二十日(日)栗源運動広場をメイン会場とし「栗源のふるさとイも祭」が開催されました。

穏やかな秋晴れに恵まれ、日本一のやきいも広場には太陽の光がふりそそぎ最高の祭り日和になりました。

農業委員会では例年「自分で見て、触れて、食べる、自然を感じて遊ぼう」をテーマに「いも掘り体験広場」を企画運営しており、今年も栗源地区の農業委員、農地利用最適化推進委員、元農業委員の皆様の協力により運営がされました。

お客様のの中には県外から来た方や家族連れも多く普段は味わえない土の感触を楽しみ、掘った芋を満杯に入れた袋を両手に満足していました。

「香取市のお芋、おいしいよね!来年もまた来ます!」との言葉が印象的でした。



ふるさとフェスタさわら

十一月二十七日(日)香取コミュニティセンターで開催された「ふるさとフェスタさわら2016」は、

地元食材を使ったご当地グルメや、地場産物の即売・PRなどのほか、子ども会まつりや消費生活展など各種催し物が行われました。

農業委員会ブースでは、「新米の配付」「農政よろず相談会場」を開設。

また、恒例の「大かぼちゃ重さ当てクイズ」では、自分より大きなかぼちゃを持ち上げようとすると小学生や、重さで意見が分かれる女性のグループなど様々でした。見事ピタリ賞もあり、入賞された方々には、地域の特産品が贈られ会場を沸かせていました。



ピタリ賞の表彰

女性目線の農業委員の活動について

伊藤はつ子

私は、資質向上と自主的・自発的な行動をする農業委員を目指しています。

女性農業委員の会では、「地域で女性が、活躍していくために...」と題して、意見交換がされました。

その中で、女性ならではの感性と、生活者としての視点を活かし、行動する農業委員として、活動を進めなければならぬと、学びました。

担い手の高齢化や、後継者不足、遊休農地の増加など、解決すべき多くの課題に、ともに学び議論し、活性化に向け取り組んでいければと思います。

新体制になり、委員の意識改革と、地域のつながりを大切にしなが、今後も農業委員として活動したいと思います。

大須賀 常政  
前農業委員長 逝去



前農業委員長の大須賀常政氏は、昨年十一月三日の山田ふれあいまつりに参加中に体調が急変し、同日の夕方急逝されました(六十七歳)。

氏は、平成十四年七月旧佐原市の農業委員に就任され、以来六期十年以上の長きに渡り農業委員を務め、二十四年九月から会長に就任し、会長二期目でした。

地域農家の代表として、また、農業委員会の先頭に立つて活躍されてまいりました。謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

新会長職務代理者



十一月二十二日に開催した農業委員会臨時総会において、高木甚一委員が、選任されました。

## 農地の売買・転用等の申請受付期間並びに総会予定表 ＜平成29年2月～6月＞

年 月	受付期間	総会開催日	備考
平成29年2月分	2月 6日(月)～ 9日(木)	2月21日(火)	
平成29年3月分	3月 6日(月)～ 8日(水)	3月17日(金)	
平成29年4月分	4月18日(火)～24日(月)	5月 9日(火)	予定
平成29年5月分	5月22日(月)～25日(木)	6月 6日(火)	予定
平成29年6月分	6月20日(火)～23日(金)	7月 5日(水)	予定

お知らせ:平成29年度より、千葉県農業会議 常設審議委員会の開催日が変更になる予定ですので、市の受付期間も変更になる予定です。＜詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせ下さい＞



「農家の経営とくらしに役立つ情報をお届けします！」

全国農業新聞の購読をしよう

全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である全国農業会議所が発行する農業総合専門誌です。

- ・発行日：毎週金曜日
- ・購読者のご自宅に郵送されます
- ・購読料：1ヶ月 700円
- ・申込：農業委員会事務局へ



「農業者年金に加入しましょう  
老後の生活の備えは十分ですか？」

農業者年金があなたに安心と潤いの老後をお届けします。

- ① 国民年金の第1号被保険者
- ② 60歳未満の方
- ③ 年間60日以上農業に従事

3つの条件を満たす方ならどなたでも加入できます。納めた保険料は、全額社会保険料控除の対象になります。

ご希望があれば、説明にお伺いします。

あなたも農業者年金に加入しましょう。

### 編集後記



十一月三日の「山田ふれあいまつり」に参加中の大須賀会長（当時）が突然倒れ急逝しました。新しい農業委員会が発足して半年余りで、益々の活躍が期待されていましたので、本当に残念です。

新会長には、伊藤寛前・会長職務代理者が就任しました。新体制での抱負を一面に掲載しました。

十一月二十日には「栗源のふるさと祭り」、十一月二十七日には「ふるさとフェスタさわら2016」が開催され、活況でした。私の地元、西坂神社で小中学生作品集「新嘗祭記念企画展」が開催され、私の夢・僕の夢と題し、小中学生の作文の発表がありました。

「人のためになりたい」、「役に立ちたい」と看護師や保育士、消防士になりたい、そのために頑張ると夢を語っていました。

人・農地プランで農業を守り発展させるべく各地で話し合いが行われています。将来、子どもたちの夢の中に「農業で人の役に立ちたい」と語られるようになりますように、祈念します。

編集長 栗林 利男